

心ワクワクワクワク 生涯青春!!



市内には学が楽しさや自身の経験・知識を、生きがいづくりや人と人の絆づくりに活かし、充実した毎日を送られている方がたくさんいらっしゃいます。みなさんも「いまからでも」「なににでも」の生涯青春を始めてみませんか？



小城生涯野球倶楽部

青空の下、キャッチボールや送球練習に汗を流す野球部員。部員の年齢はなんと58歳以上！

「小城生涯野球倶楽部」は、健康管理と地域スポーツ振興のために平成13年に設立され、今年で12年目を迎えます。選手は58歳から77歳までの35人で、若い頃に野球をしていた方や野球が好きな方などさまざまです。練習内容は、足腰を中心とした柔軟体操とランニングをした後、試合に臨めるように、左右にゴロやワンバウンド、遠投などを組み合わせた実践のようなキャッチボール、ノックなどで構成されています。

野口清志郎監督は「今年目標は

お知らせ

第6回
寿スーパースター
(72歳以上)
リーグ軟式野球大会
9月26日(木)【予備日:27日(金)】
会場:アイル

ぜひ応援よろしくお願いします!



「日舞があるから

元気でいられます」





「少年の心を忘れず 白球を追いかけています」

青春
生涯

最年長

かわさき まさふみ
川崎 正文さん 77歳

入部3年目の川崎さんは自営業の仕事
をしながら、練習に励まれています。
以前からソフトボールの審判など、
地域の健康づくりに取り組まれてい
ました。「野球経験はありませんが、
入部したことで体づくりも心がけるよ
うになりました。知り合いが増え若返っ
た気がします。練習に送り出してくれる妻の協力もありがたいです
ね」と年齢を感じさせない川崎さんです。



◆練習日 毎週水・土・日曜日
9時～12時

◆場所 小城公園（自楽園）

◆年齢 58歳以上

【問合せ】 ☎66・3328（野口）

選手、大募集中です！
まずはお気軽に見学にきてください。



初めて見た日舞に魅了さ
れ、踊りを始めたのは30歳
を過ぎてから。「踊りの師匠
は厳しい方でしたが、踊る
楽しさに、夢中になって練
習しました。そんな中、藤
間〃の名をいただいたのはと
師匠から勧められ、主人に
相談したところ『やるなら
とことんやりなさい』との
応援を受け、2年後には師
範代にまでなることができ
ました」と話す南里さん。
自宅で教室をひらき、近
所の子どもや大人の方たち
の指導に献身的に取り組む、
子どもたちの中には名取り
になった方もいらつしやる
そうです。



日本舞踊

南里昌子さん
（藤間千衛鳳）

（82歳）



▲好きな演目は紅売りの恋心を淡くしっとりと唄った『紅売り』。師匠に習った思い出の曲で、今でも指導を受けていたことを思い出されるそうです。

南里さんは、曲を流しな
がら料理をしていると、つ
い夢中になって体が動いて
しまつこともあるそうです。
今も舞台上上がり、指導
を続けている元気の秘訣を
お尋ねすると、「背筋を真っ
直ぐすることを意識してい
ます。大病もせず元気に
いられるのは踊りがあるか
らでしょう。今後も体力が
続く限り大好きな日舞を踊
り続けていきたいです」と
笑顔で答えてくださいまし
た。



小城男声合唱団 てんざん

小城文化センターの一室から「小城男声合唱団 てんざん」の皆さんの力強い歌声が響いてきました。

団員は64歳から90歳までの平均年齢76歳、17人が所属されています。

もともと、お謡いのサークルに在籍していた団長の池田一介さんと稗田迪雄さんが中心となり、「いつも明るい歌声が響く町づくりを目指そう」と3年前に立ち上げられました。

元・音楽教師の村田忍さんが指導され、練習は月2回行われています。とつても和やかな雰囲気の中で、「あざみの歌」「高原列車は行く」「箱根八里」など懐かしい曲を練習されているそうです。

「私たちは素人集団。楽譜が読めなくても大丈夫です」

結成当初から「ふれあい芸能まつり」への出演を重ね、昨年は県民体育大会の開会式で歌う機会もありました。

稗田さんは「私たちは素人集団。楽譜が読めなくても大丈夫です。みんな楽しく歌うことをモットーにしていますので、歌うことが好きな方、何か始めてみたいという方は、気軽に参加していただきたいです」と話されます。

目標は、いつか小城で『第九』を歌うこと。年齢を感じさせない、力強い歌声が今日も小城の空に響きます。



◆練習日 毎月第1・3木曜日
10時～12時
◆場所 小城文化センター
【問合せ】 ☎72・2835 (稗田)

団員大募集中です!
まずはお気軽に見学にきてください。

青春

最年長

江頭 林三さん 90歳

江頭さんはメンバー最年長ですが背筋もピンと伸び、健康そのもの。「体が強いのは戦時中、軍隊での厳しい訓練と、強い体に産んでくれた両親のおかげでしょうね。年齢を意識し過ぎず、歌の練習を続けていることが元気の素です」と笑顔が輝きます。



水墨画

水墨画は墨一色で濃淡をつけながら描く、日本伝統の絵画。



墨の香りが漂う「あしぱる」の一室で、水墨画の指導にあたっていているのがこの40年の蒲原さんです。

生涯を通して楽しめることを探していた時に、知人から水墨画の色紙をもらったことがきっかけで30年前頃から水墨画界でも著名な斎藤南北先生の元で習い始められました。

蒲原さんに一枚描いていただくようお願いすると、早速墨を磨り、下書きもなしに一気に



蒲原 善治さん

(86歳)

に竹林と、色鮮やかな牡丹を描かれました。

蒲原さんは、ある程度の構図を頭の中で決めると5分から大作でも40分ほどで描かれます。磨ったばかりの墨は濃淡が出ますが、時間が経つと使えなくなるそうです。また、水墨画は、時間との勝負。時間が経つと最初に描いていた墨の部分が明るくなり、全体のバランスが悪くなるため、無心で描かれます。

6年前、芦刈町に引っ越してきた頃、芦刈の文化祭に作品を出品した際に「水墨画を教えて欲しい」と声をかけられたこと

がきっかけで「芦刈水墨画サークル」は始まりました。

生徒の皆さんは「蒲原先生は水墨画に対してものすごく熱心。私たちにも優しく指導してくれます。先生の筆の運びは迷いがなくスムーズ。少しずつでも近づいていけたら」と話されます。

今後の目標を尋ねると「富士山と三保の松原」をテーマとした山水画を描きたいです。水墨画は奥が深いですが、これから絵を描き残していきたいですね」とにこやかに話されました。



「水墨画は

奥が深いです」



◆練習日 毎週木曜日
13時30分～15時30分
◆場所 あしぱる
【問合せ】 ☎66・3235

興味のある方は一緒に学びませんか？

小城市文化連盟会員募集中！

美術工芸・舞踊・音楽・文芸・茶道・生花など多種多様な171のサークルが市内で活動中です。

年齢を問わず、皆さん和気あいあいと練習に励んでいます。各サークルとも会員を募っています。仲間に入りませんか！

【問】小城市文化連盟
☎37・6132

■各サークルは8月20日に配布された「おぎ文化」第18号に掲載しています。

シルバー人材センター会員募集中！

シルバー人材センターでは60歳以上の健康で働く意欲のある方の入会を受け付けています。会員の方は自分の体力、能力、希望に応じて働くことができます。

◆業務内容
植木の剪定、除草、草刈、除草剤散布、不用品処理など

【問】(公社)小城市シルバー人材センター
☎73・9669

生きがい講座に参加しませんか？

◆対象者 65歳以上
◆定員 各講座約15人
◆参加料 無料

※材料費は実費

◎小城会場《桜楽館》
生け花、水墨画、レザークラフト、短歌、連珠（五目並べ）、Tシャツ染描（6月～9月まで）
◎芦刈会場《ひまわり》
カラオケ教室

【問】小城市社会福祉協議会
☎73・2700

